

乃きりしを以て話の事なと相傳へるを以て
山田矢橋と此祠のありしを村名は用ひて
今に呼ばるなりけらし是川村とて古人は能
きをぬいひて傳へり小寺氏曰く是古小
やゝ風流を述べた英談の一なりけり地の流
多し下無の格なり中継詳なりを惜りな
と云く尚亦に牧童院といへる禪寺あり院
号又風流なり牧童を笛倚牛吹と朗詠集
ありあり

一寺山大権現

寺村より多神志の人なり社伝云又十
三石之平又本上平二十一通地方なる村有
家一負流流十一軒社家二負兼仕一人あり
祭礼に月八日田楽楽舞能くあり社家獅子
頭を舞は社内より古き古き靈物あり古伝奉詣
る寺千手観音と稱して社号をいさす予
先年奉詣りて祭礼を見るに懺へる寺山
大権現とあり権現は社号なり又四月八日
親善の録日ありと又親善に社家ありへり
らに親善ハち家あり本地佛と習合志する